

第4次蟹江町総合計画の総括的評価

1 総括的な評価・検証について

第4次総合計画に記載された各施策の進捗状況等について評価及び検証を行いました。

具体的には、役場の各担当課で単位施策の実績評価、現状分析、今後の方向性及び課題の整理を行いました。その後、各分野担当職員によって構成された中堅職員ワーキングにおいて、「健康・福祉部会」、「教育・生涯学習部会」、「環境・安全部会」、「都市基盤・産業部会」の各グループで評価及び検証を行い、町長を始め部長級で構成された策定会議等を経て、次期総合計画の策定につなげました。

2 検証結果のとりまとめ

第4次総合計画では、基本計画において2つの「重点プログラム」と5つの「部門別計画」を掲げ、将来都市像である「キラッとかにえ 明るい未来が見えるまち」の実現に向けて51の基本施策に沿って取組を進めてきました。本件は、これまでの取組について各部会が検証した内容をとりまとめたもので、第5次総合計画の策定において参考資料としました。

(1) 重点プログラム

総合計画に記載された取組がどの程度実施できたかを踏まえ、各担当課で進捗状況に関する「総合評価」をA～Dの4段階で評価しました。

重点プログラム	実施 施策数	総合評価			
		A	B	C	D
【重点プログラム1】 「協働まちづくりプログラム」	39	6	29	3	1
【重点プログラム2】 「水郷の里づくりプログラム」	22	8	13	—	1
計	61	14	42	3	2

※ 凡例 評価 A：十分成果をあげている B：成果をあげている
C：思ったほど成果があがっていない D：成果があがっていない

<総括>

- ◆ 重点プログラム1「協働まちづくりプログラム」については、第4次総合計画の期間中に「^{キラッと}輝来都かにえ・協働まちづくりモデル事業」が「協働地域づくり支援事業*1」に発展し、延べ約60団体が様々な活動に取り組んできました。また、地域組織においても、まちづくり推進事業交付金*2を活用し、それぞれの地域で独自性を持った事業を推進しています。今後も、公益性の向上を図りながら、各種団体や地域組織と町が互いに連携し、協働によるまちづくりを継続・発展させることが課題となっています。

*1 協働地域づくり支援事業：住民団体等が主体となり、町との協働によって地域課題の解決に取り組む事業
*2 まちづくり推進事業交付金：地域住民の自主的な活動により、住みよい地域社会づくりと生き生きとしたまちづくりを推進していくために行う事業に対して町が交付する補助金制度

- ◆ 重点プログラム2「水郷の里づくりプログラム」については、ハードソフト両面から様々な取組を進めてきました。水辺スポットを活用した事業を地域や観光協会と連携して推進することで、水郷のまちづくりへの関心を高めてきました。さらに、須成祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、観光交流センター「祭人」を拠点とした様々な魅力づくりに取り組んでいます。また、宝排水機場や大膳排水機場など排水機の計画的な更新を進め、排水機能を強化し、水害に強い基盤づくりを進めてきましたが、昨今の集中豪雨の頻発などを見据えた、さらなる治水対策が求められます。今後、水郷の里として、景観整備とともに防災・減災に対する取組と蟹江ならではのまちの魅力の創出・発信を並行して進めることが望まれます。

(2) 基本成果指標

5つの基本目標ごとに、各分野別計画における施策別の実績を検証し、達成状況をとりまとめました。

基本目標	実施 施策数	総合評価			
		A	B	C	D
第1章 心身ともに健やかに支え合って暮らせるまちづくり	107	17	75	15	—
第2章 次代につなぐ教育と生涯学習のまちづくり	51	12	31	7	1
第3章 豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり	84	40	39	5	—
第4章 誰もが元気に楽しく住みつけたいまちづくり	83	18	47	15	3
第5章 町民・行政の協働と効率的な行政運営によるまちづくり	41	—	30	11	—
計	366	87	222	53	4

※ 凡例 評価 A：十分成果をあげている B：成果をあげている
C：思ったほど成果があがっていない D：成果があがっていない

<総括>

- ◆ 分野別計画に掲げた実施施策366項目のうち、「A：十分成果をあげている」、「B：成果をあげている」が合わせて309項目と、全体の84.4%で施策を実施し、一定の成果が得られました。一方で、「C:思ったほど成果があがっていない」、「D：成果があがっていない」と評価した項目について、第5次総合計画の策定に当たり、課題を掘り下げて整理を行いました。以下に、本検証により抽出された主な課題を整理します。
- ◆ 第1章については、高齢化社会の進展により、医療や介護を必要とする高齢者が増加する中、日常的な健康づくり活動を促進することで健康寿命を延ばし、医療や介護負担の軽減を図ることが必要です。また、地域が複雑化・多様化する中で、生きにくさを感じている人もいます。地域における居場所づくりや心の健康づくりのための取組が必要です。

子育て支援に関しては、出産・育児に関する不安やストレスを抱える保護者が年々増えてい

ることから、子育て世帯やこれから結婚・出産を見据える若者が、当町で安心して子どもを産み、心身を健やかに育めるよう、妊娠・出産期の支援や保育サービスの充実などが求められます。また、親亡き後の生活維持に関する課題が増加しつつあることから、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、権利擁護に関する相談や成年後見制度の活用などの専門的な支援が求められます。

- ◆ 第2章については、青少年を取り巻く環境がSNSの普及等により顔が見えない相手とのトラブルや犯罪の低年齢化など日々変化する中、学校や地域と連携した青少年健全育成に取り組んでいくことが必要不可欠です。また、子どもを含む多くの町民が心身の健康維持のために気軽にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の改善や設備の充実などの環境整備が求められます。

情報化社会が進展し、子どもの本離れが進む傾向にあるため、読み聞かせや各種イベント等を開催することで、本に触れる機会の増加を図り、本の面白さを伝え、子どもの読書活動を推進していく必要があります。

- ◆ 第3章については、町民の治安への関心は高く、子ども、女性、高齢者の犯罪被害を防止するため、防犯灯や防犯カメラの設置など犯罪抑止に配慮した環境整備が求められます。また、防犯に対する町民の意識啓発や地域で自主的に取り組む防犯活動の強化が課題となっています。交通安全対策としては、交通死亡事故ゼロをめざし、交通安全に関する町民の意識を高め、交通マナーの向上を図っていく必要があります。また、毎年各地で大規模な災害が発生していることから、自助、共助が大切であることを再確認し、引き続き町民一人ひとりの防災意識の高揚と自主防災組織の活動強化を推進していく必要があります。そして、災害のリスクを正しく認識してもらうため、ハザードマップの配布とともに防災学習会等を行っていく必要があります。

環境に関しては、ごみ分別手引き、家庭ごみ収集カレンダーの配布、エコステーションの運用により、ごみの削減及び3Rを進めています。また、ゴミ出しマナーの悪い集積場が一部存在していることから、モラル向上に向けた啓発活動を継続していく必要があります。そして、循環型社会の実現に向けて、町民・事業者・行政がごみの排出量の削減と再資源化に取り組んでいくことが求められます。

- ◆ 第4章については、町内の主要な幹線道路として東名阪自動車道、国道1号、西尾張中央道がありますが、東西幹線や西尾張中央道の一部での慢性的な混雑が課題となっています。

当町には、歴史的な町並みや水郷の景観資源があるものの、都市化の影響等で徐々に失われつつあります。地域の協力を得ながら、これらの貴重な景観の保全が課題となっています。また、道路、橋梁、公共施設の老朽化に加えて、老朽家屋や空き家が増加していることから、利活用も含めた空き家対策などによる住環境の整備が求められます。

産業・観光振興に関しては、商店街の活性化のために取り組んできたイベントは盛況であり、各商店街でイベントを盛り上げようという機運は高まっていますが、日常的な各個店の売上向上につながっていないことが課題です。また、観光交流センター「祭人」を拠点に、観光PR

や、観光資源の掘り起こしに取り組んできましたが、さらなる賑わいの創出を図るため、地域の特産品となる商品の開発や町外へ魅力を発信することで、来訪者の増加や町での滞在時間を増やす取組が求められます。

- ◆ 第5章については、少子高齢化の進展や核家族化の進行など、町民を取り巻く社会環境の変化により、地域の課題やニーズが複雑化・多様化し、行政のみで解決することが困難な事例が増えています。今後は、町民の連帯意識を強化するとともに、町民自らが地域の課題を解決できるまちづくりを進める必要があるため、協働のまちづくりに向けた団体間の連携や住民活動の支援の充実が求められます。

行政ニーズの高度化・多様化に対応するためには、適正な人事配置や機能的な組織づくりの推進が求められます。地域に必要とされる役割が果たせるよう職員の能力開発や教育の推進、そして計画的な財政運営を進めることが課題となっています。

3 次期計画の策定において

(1) 住民と民間事業者、行政による協働のまちづくりの進展

当町は、須成祭をはじめとする歴史・文化資源、水郷景観や温泉など恵まれた地域資源、町内に3つある鉄道駅を拠点に市街地を形成し、名古屋駅まで10分前後の高い利便性など、都市間競争の中で生き残り、持続的な発展を遂げる潜在的な魅力を有しています。また、第4次総合計画期間中に、協働の推進に係る様々な施策・事業を実施し、その成果が少しずつ実を結びつつあります。

次期計画の策定においては、今後のまちづくりについて、現行計画策定時に行った住民と行政との協働をベースに計画内容を検討することに加え、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍などの視点からの地域活動・住民活動への参加促進、外国人を含め生活様式や価値観などの多様性を認め合う社会を形成することが課題です。

(2) 町の魅力と誇りの共有と町外への発信

当町には、様々な歴史文化資源や自然資源があり、観光施策やシティプロモーション事業により魅力を発信しています。また、須成祭はユネスコの世界遺産にも指定され、これまで以上に全国的な認知度が高まっていますが、一方で、町としてそれらの地域資源の魅力について、転入者など多くの住民に対して十分に周知できておらず、町に対する愛着や誇りが高くないのが現状です。

次期計画の策定においては、当町の良さを再認識し、より良い町にしていくことを町民と共有し共感してもらうことにより、町民一人ひとりが町に愛着と誇りを持って暮らせる機運を醸成していくことが課題です。また、当町が有する様々な地域資源を活用し、広く町の魅力を発信することにより、町外から注目され、来訪者や移住者の増加をめざすことが重要です。

住民満足度比較表（H20-30）

健康・福祉のまちづくりについて		前回満足度 (H20)	今回満足度 (H30)
(1)	健康づくりのための情報提供や施設	25.6%	31.3%
(2)	病院など地域医療体制	18.2%	33.3%
(3)	住民同士の支えあい・地域福祉活動	29.6%	24.1%
(4)	保育所や幼稚園の施設・運営	34.4%	33.5%
(5)	子育てしやすい環境	32.8%	32.5%
(6)	高齢者が生活しやすい環境	24.7%	24.1%
(7)	介護保険サービスなどの高齢者の福祉	17.5%	16.2%
(8)	障がい児（者）が生活しやすい環境	9%	8.5%
(9)	生活保護世帯の自立支援	7.5%	5.9%

生涯学習・教育・文化について		前回満足度 (H20)	今回満足度 (H30)
(10)	学校教育（小中学校）や地域の教育環境	36.5%	35.8%
(11)	生涯学習のプログラムや施設	21.5%	23.4%
(12)	スポーツ活動やスポーツ施設	21.5%	21.3%
(13)	図書館などの文化施設	58.4%	50.6%
(14)	文化・芸術活動と活動環境	21.8%	19.4%
(15)	文化財や古い街並みの保存	27.6%	27.5%
(16)	青少年を取り巻く環境	12.3%	13.3%
(17)	男女共同参画の取組み	7.3%	9.6%
(18)	国際交流活動や外国人との共生	7.8%	10.7%

生活環境について		前回満足度 (H20)	今回満足度 (H30)
(19)	ごみ処理、リサイクル	52.3%	58.4%
(20)	まちの美化	40.7%	41.3%
(21)	川や用水路の水質・環境	12.8%	19.3%
(22)	騒音・振動・悪臭などの公害対策	19.2%	27.6%
(23)	身近な生き物など自然環境の保全	15.5%	18.3%
(24)	消防・救急体制	44.6%	53.4%
(25)	防犯対策や自主防犯活動	25.9%	28.4%
(26)	交通安全の運動や啓発活動	28.9%	31.1%
(27)	避難所・避難路整備などの防災対策	21.2%	24%

住民満足度比較表（H20-30）

都市基盤の整備について		前回満足度 (H20)	今回満足度 (H30)
(28)	公園・緑地	39.8%	39%
(29)	計画的な市街地の整備	17%	20.4%
(30)	生活道路等の整備	25.3%	29.1%
(31)	幹線道路などの整備	24.5%	27.9%
(32)	交通安全施設(カーブミラー・ガードレールなど)	27.6%	27.4%
(33)	公共交通機関（鉄道・バス）	40.5%	39.6%
(34)	河川整備や雨水などの排水対策	20.2%	24.2%
(35)	下水道整備	15%	24.4%

産業について		前回満足度 (H20)	今回満足度 (H30)
(36)	農業振興、農地の保全・活用	9.9%	8.7%
(37)	工業振興	6.9%	7.6%
(38)	商業・サービス業の振興	12.1%	15.9%
(39)	観光振興	11.1%	12.1%

行政運営について		前回満足度 (H20)	今回満足度 (H30)
(40)	まちづくりミーティングなど町政への住民参加・参画	16.7%	13.2%
(41)	区・町内会等の地域活動と活動環境	25.3%	20.2%
(42)	ボランティアやNPO活動と活動環境	13%	11.6%
(43)	町の行政改革の推進	13.3%	11.8%
(44)	町の広報・広聴活動や情報公開	29.2%	27%
(45)	役場や町施設の窓口対応	33.4%	37.5%